

・対象地区: 函館市 入舟町・弁天町  
 ・地域人口: 2,274人(平17年9月末 住基台帳)  
 ・漁港: 函館漁港(3種)  
 ・漁業就業者: 65人(平16年 漁協組合員数)

## 函館(入舟)地域マリンビジョン

# 函館の歴史と海の魅力を未来につなげる「入舟地域まるごとPR構想」

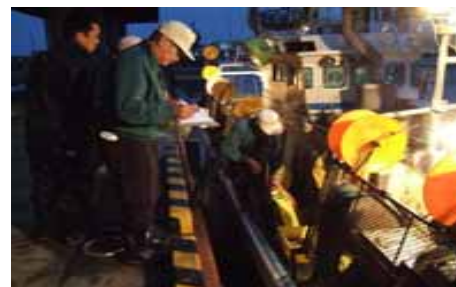
平成19年3月策定

拠点漁港タイプ

衛生管理流通拠点型  
都市漁村交流拠点型



函館漁港鳥瞰



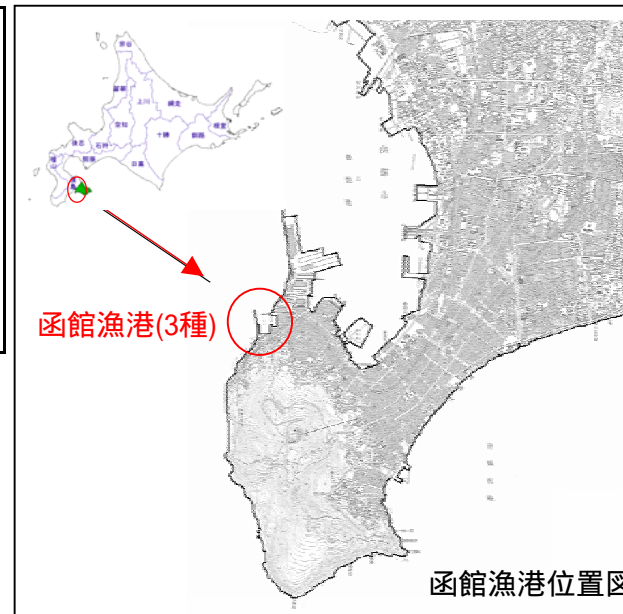
上屋設置岸壁での活イカ陸揚げ



船入潤と石積み防波堤



活イカの畜養



函館漁港(3種)

函館漁港位置図

## 現状と課題

現状

北洋、造船等大型産業縮小で地域経済減衰  
 雇用受け皿の観光も入込み客数が伸び悩み  
 入舟地域人口の高齢化と減少が進展  
 水産物消費の伸び悩みと価格の低迷  
 漁業者の高齢化・減少が進み水揚げが縮小  
 プレジャー船の利用ニーズが増加

課題

水産資源の保全と付加価値化等有効活用  
 歴史・観光資源と漁業の魅力の効果的活用  
 による地域活性化  
 定住促進、漁業後継者育成対策

## 地域の目指す姿

### ビジョンの特徴

資源管理の徹底とともに水産物の衛生管理・付加価値向上に積極的に取り組み、安心・安全な水産物の供給体制確立と周辺の歴史・観光資源集積と漁業の魅力を活かし、住民・市民・来訪者が憩う漁港エリアの形成を目指す。さらに、地域が一体となった環境保全活動や異業種の連携による水産物のPR、新たな商品開発、直販イベントなどへの取り組み、地元消費の拡大と入舟地域の活性化を目指す。

市民・来訪者に  
アピールする魅力ある  
漁業と流通加工  
拠点の形成

- ・水産物の安全・信頼を高める衛生管理体制の整備と付加価値の向上
- ・漁場環境・地域環境の保全推進及びイカのPRとイメージアップ推進
- ・地域性・独自性の高い水産品の開発・製造と地消機会の提供
- ・漁業者との交流機会の提供と水産物・加工品等の直販イベントの開催

歴史資産  
の保全・活用

- ・石積み防波堤の保全と景観資源・交流資源としての活用

住民・市民・  
来訪者が憩う  
漁港エリアの形成

- ・歴史・観光資源と漁業の魅力を活かした住民生活と調和する動線の活用
- ・漁港エリアの案内機能、憩いの場の充実
- ・漁港エリアでのサービス業の奨励

## 地域マリンビジョン協議会

協議会メンバー

- ・学識経験者
- ・漁業関係者
- ・流通加工関係者
- ・自治会関係者
- ・行政関係者

## 地域資源(特徴)

道南の拠点都市である函館市街地と隣接  
 周辺には歴史・観光資源が集積  
 国際水産・海洋都市構想の取り組み進展  
 海域環境に恵まれた多彩な生物相を形成  
 全国有数の活イカ出荷基地  
 評価の高い磯根もの生産  
 漁港周辺に水産加工場が集積

【主な地域資源等】

- ・漁港の石積み防波堤・石燈籠、弁天崎台場跡
- ・函館山～元町・末広町～外人墓地観光ルート
- ・イカ、ウニ、アワビ、アカザラ貝、漁家のいか飯

## 漁港の将来像

### 衛生管理流通拠点機能の増進

- ・衛生管理区画の強化・徹底
- ・都市漁村交流拠点機能の増進
- ・歴史遺産である石積み防波堤・石燈籠の修復
- ・プレジャー船の利用性と来訪者の散策性を考慮した老朽北防波堤の改良

### 漁船利用性の向上

- ・休けい用係留施設・泊地静穏度の向上
- ・荒廃した漁場の回復
- ・定着基質や波浪条件の把握と回復方策検討

## ビジョン実現のための主な取り組み

- 水産物の衛生管理意識の向上を図るマニュアル作成、鮮度保持講習会の開催
- 漁港の定期的クリーン作戦実施
- 漁港でのPRイベント・販売の検討
- 漁港を核とした歴史・観光動線の検討
- 地元水産品(アカザラ貝等)の新たな商品化の検討
- 多様なニーズに応える漁港施設の整備